



BENEFIT JAPAN

2023年3月期 第3四半期決算説明資料 (2022年10月1日～2022年12月31日)

株式会社ベネフィットジャパン

(証券コード：3934)

2023年3月期第3四半期決算ハイライト

1

売上高は過去最高の9,449百万円（前年同期比+8.6%）

2

保有契約回線数は過去最高の227,800回線超（前年同月比+15.0%）

3

経常利益（620百万円）は、四半期としては改善傾向にあるものの、累計では上半期の減益があり前年同期と比べ減少（前年同期比△47.1%）

連結損益計算書

- 回線数増、ロボット事業の売上高増等により、連結売上高は前年同期比8.6%増
- 販売人員数を増やしポップアップストアを拡大したこと等の販売コスト増により、連結経常利益は同47.1%減
- 代理店の信用状態悪化に伴い、貸倒引当金繰入額を特別損失（126.9百万円）として計上

(百万円)

	22年3月期 第3四半期		23年3月期 第3四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期 比増減率	前年同期 比増減額
売上高	8,704	100.0%	9,449	100.0%	+8.6%	+744
売上原価	3,859	44.3%	4,335	45.9%	+12.3%	+475
売上総利益	4,844	55.7%	5,113	54.1%	+5.6%	+269
販管費	3,691	42.4%	4,482	47.4%	+21.4%	+790
営業利益	1,152	13.2%	631	6.7%	△45.2%	△521
経常利益	1,173	13.5%	620	6.6%	△47.1%	△552
親会社株主に帰属する 四半期純利益	757	8.7%	253	2.7%	△66.6%	△504

セグメント別業績

(百万円)

	22年3月期 第3四半期	23年3月期 第3四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	8,704.5	9,449.5	+8.6%	+744.9
モバイルWi-Fi	6,838.2	7,243.0	+5.9%	+404.8
ロボット	1,485.0	2,003.2	+34.9%	+518.2
その他	381.3	203.1	△46.7%	△178.1
営業利益	1,152.7	631.3	△45.2%	△521.3
モバイルWi-Fi	1,553.3	1549.6	△0.2%	△3.6
ロボット	△165.9	△ 627.0	△277.9%	△461.1
その他	78.6	53.8	△31.6%	△24.8
全社費用	△313.3	△ 345.0	△10.1%	△31.6

セグメント別売上高増減分析

●モバイルWi-Fi事業

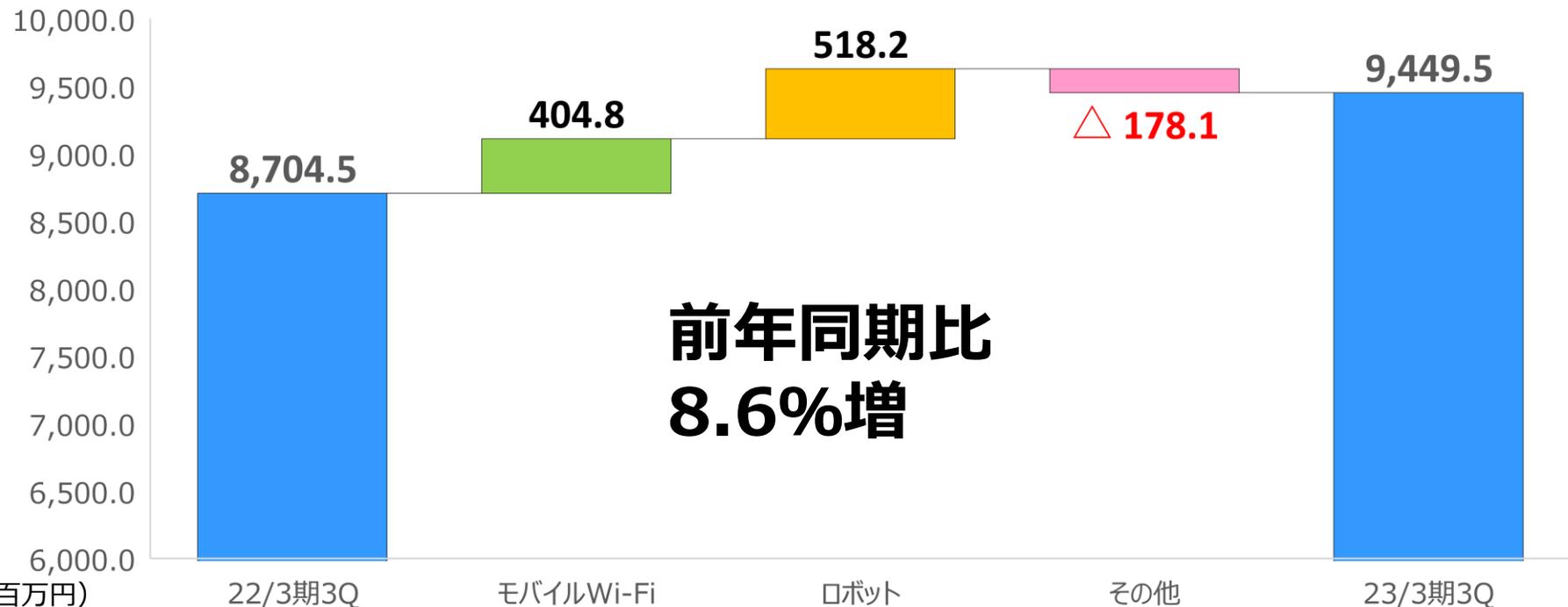
代理店に対するモバイルルーターの端末販売の減少などにより端末販売等の売上高は減少したものの、MVNE回線数増等により保有件数増に伴うストック売上高及びレンタル利用増に伴う売上高が増加

※保有件数増に伴うストック売上高増（+329百万円）、レンタル利用増に伴う売上高増（+130百万円）、端末販売等の売上高減（△55百万円）

●ロボット事業

販売人員数を増やしポップアップストアを拡大したこと、地方でのCM施策による認知度向上やWEB予約の広告強化に伴う予約来店数増等によりロボット端末の売上高増

※保有件数増に伴うストック売上高増（+169百万円）、端末販売等の売上高増（+349百万円）



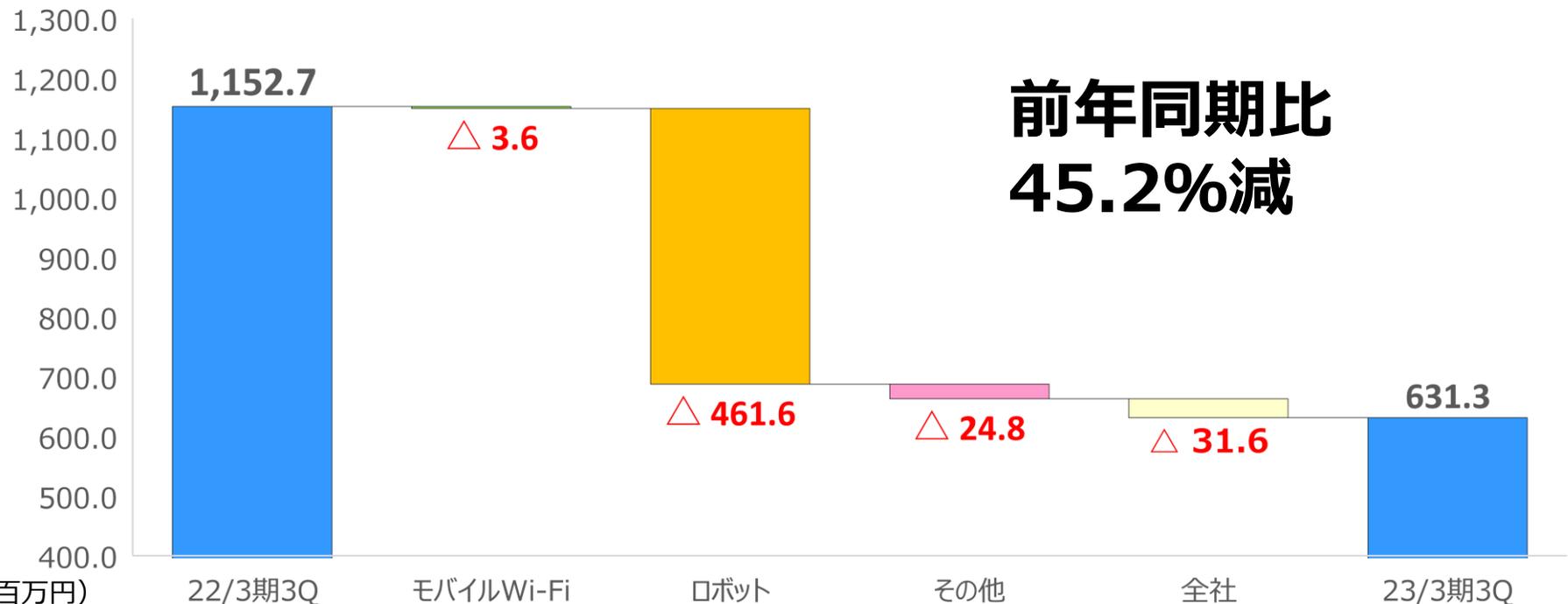
セグメント別営業利益増減分析

●モバイルWi-Fi事業

契約回線数は増加したものの、優良店舗の確保が難しかったことから遠方店舗や大型店舗を中心に稼働したこと、レンタルWi-Fi事業において定期的に発生するモバイルルーター端末の劣化に伴い、端末を購入したこと等で前年同期と同水準にとどまる

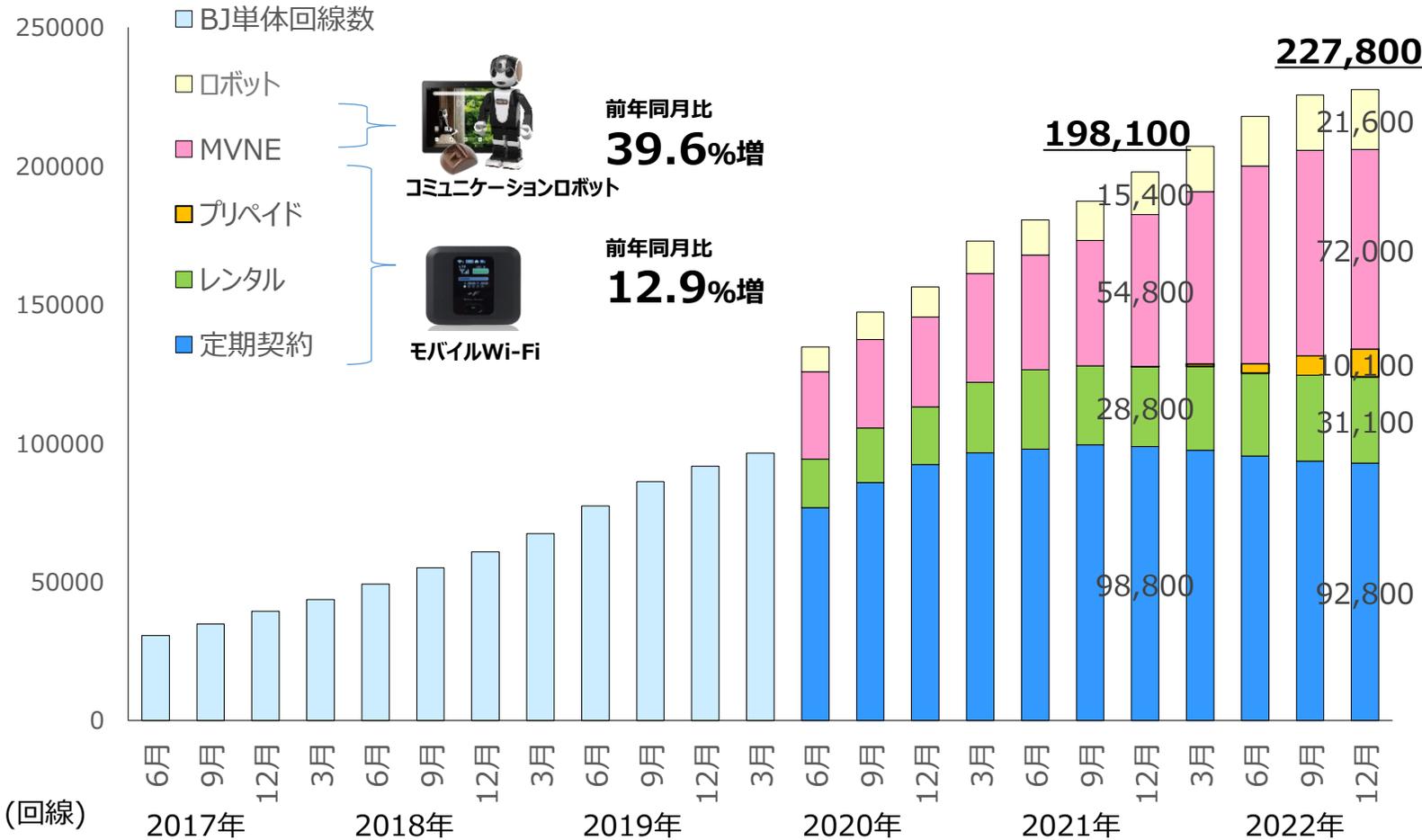
●ロボット事業

販売人員、広告費用等の販売促進費、遠方店舗及び大型店舗での稼働増等により販売コストが大幅に増加し、大きな減益要因になりました。なお、第3四半期連結会計期間において、販売人員及び広告費用等の販売コスト適正化、優良店舗の確保などの施策を実施し、営業利益は改善傾向にあります。



契約回線数の推移

契約回線数はMVNEが伸長したこと等により前年同月比15.0%増



前年同月比
39.6%増
コミュニケーションロボット

前年同月比
12.9%増
モバイルWi-Fi

前年同期比
15.0%増

※ 2020年3月までは、ベネフィットジャパン単体の契約回線数
2020年6月以降は、ベネフィットジャパングループの契約回線数（区分）

23年3月期の連結業績予想に対する進捗

通期計画※に対する進捗は、モバイルWi-Fi事業及びロボット事業において、（修正後計画の）第3四半期の想定通りに推移した

※2022年11月10日修正後の計画

(百万円)

	23年3月期		
	通期計画	第3四半期	進捗率
売上高	12,483	9,449	75.6%
営業利益	946	631	66.7%
経常利益	925	620	67.0%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	466	253	54.2%

“Connecting to the Future” (未来へ繋ぐ)

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

Benefit of Technology to All People!

笑顔でつなぐ、

みんなの未来

BENEFIT JAPAN